平成30年度　事 業 報 告

社会福祉法人　勝心会
施設長　西川　和代

平成 30 年度は、平成 29 年度より本格施行された改正社会福祉法により、経営管理体制の強化、事業運営の透明性の向上、地域における公益的な取り組みを実施する責務が求められる中、当法人においては、地域サロンへの出前講座として特養の職員 4 名と総務課職員 1 名が平成 31 年 2 月 27 日、いきいきサロン高田台遊友で「認知症予防教室」やレクリエーション等を実施した。グループホーム清音の職員においては、平成 30 年 7 月 23 日に佐用谷公民館、平成 30 年 10 月 27 日には平野公民館、平成 30 年 11 月 19 日には與井公民館へと 3 回でむき、リハビリ体操や回想療法を実施した。いずれにおいても、地域の方からは良い評価を頂いた。

その他の公益的な取り組みでは、買い物支援、認知症カフェなど滞りなく実施し、令和元年 7 月には、近畿老人福祉施設協議会、滋賀大会において買い物支援の様子を発表することになった。

また、広報誌「いぶき」の発行やホームページにより、施設の行事や様子が滞りなく発信でき、利用者、入居者の家族からも楽しみにしているとの声を頂いた。

人材育成の面では施設内外への研修はもとより、自己研鑽により介護福祉士資格３名、の職員が合格をした。

外国人雇用事業への取り組みについては、外国人の受け入れは年度内にはかなわなかったが、受け入れ機関 GTS 協同組合との書類等提出は終了しミャンマー政府の許可を待つばかりとなった。

正職員の離職率は 10.7%（6 名）で、結婚や家庭の事情、体調不良による退職であった。相談面接や部署異動などを行い離職軽減に努めた。

コスト面においても、特に消耗品などは業者から試供品を取り寄せ、より安く性能の良い物品を購入できた。